

THE PRESIDENT COLUMN

卒業生・新入生へのメッセージ

今年(西暦710年(和銅3年))に元明天皇が平城京に遷都して1300年にあたる節目の年であり、様々なイベントやシンポジウムなどが開催されます。また、今年(21世紀)に入ってから10年目の区切り年ですが、国立大学が法人化してから6年を経過した節目の年でもあります。2004年4月1日(平成16年)に全国の国立大学は国立大学法人として生まれ変わりました。本学も「国立大学法人奈良教育大学」となり、大学の管理・運営等のシステムも大きく変わりました。法人化した2004年度から今年度までの6年間の教育(及びすべての大学の活動)は、法人化と同時に掲げた目標と計画(第一期中期目標・中期計画)に従って実施されてきました。

法人化以前の奈良教育大学を体験

することがなかったみなさんには実感しにくいことかもしれませんが、この6年間で、教育内容やシステムの研究、地域連携、国際交流などの活動が広がり強化されました。特に、国立大学時代に比べると、学校現場において子どもたちと直に接しながら学ぶ機会が多くなりました。し、幼稚園の園児や小・中・高等学校の児童・生徒が大学に来て学びや体験をする機会も増えました。また、開設以来2年を経過した教職大学院(大学院教育学研究科専門職学位課程)は教育現場と密接に結びつきながら教員としての実践的力を高めることをめざしている「教員養成教育の高度化」の一環と位置づけられます。卒業・修了するみなさんは大学にとって激動の6年間の学び、研究をしたことになりました。

教員という職業に限らず、大学で得た知識と職業人となった現場で実際に必要な技能にはギャップがあるのが通例です。社会人になったら、できるだけ早くそのギャップを見つけて、どうすればそのギャップを埋めることができるのかを考え、行動してください。人生の経験で役に立たない経験はありません。どのような場面においても必要なことは「学び続ける」ことです。学び続けることの基礎力の一つは教養の広さと深さです。大学で学んだことを基礎として新たな挑戦をしながら学び続けてください。

新入生のみなさんは、大学が新しく成長する6年間(第二期中期目標・中期計画期間)の始まりという節目の年に入学したことになります。大学・大学院での学びは、卒業・修了ま

でに身につけるべき目標を明確にすることが求められます。みなさんのもつばら知識を獲得するこれまでの学習から知識を応用・運用することへと進化させることが重要です。新しい学びの中で自分の目標を掲げてコツコツと積み上げてください。楽しく学び続けるための鍵が教養を広め、深めることであることは新入生のみならずにも強調したいことです。特に、自分の専修や専攻とは一見して直結しない分野の知識・方法などを学ぶことが専門分野の学びに豊かさや多様性を与えてくれることに着目したいと思います。

1300余年前に古代の人々が「クニ」としての歩みをはじめた奈良の地において、みなさんが今年を節目として新たな歩みを始めることを期待し、心から祝福いたします。



長友 恒人
奈良教育大学 学長

3 【学長コラム】

卒業生・新入生へのメッセージ

学長 長友 恒人

4 【特集】教育実習の日々 ～ 附属幼稚園編 ～

教育学部 学校教育教員養成課程 3回生 中村 恵
教育学部 学校教育教員養成課程 3回生 福田 夏希

8 【特集】大学フル活用のススメ

12 教員への確かな学びを支える「教職実践演習」と「履修記録」

学長補佐(教育課程担当) 渋谷 真樹

14 ぶらり散策インタビュー ～奈良県立図書館～

奈良県立図書館 総務・企画グループ 企画・広報担当 乾 聡一郎
教育学部 学校教育教員養成課程 2回生 萩野まどか

16 【ラボ・レター】

電気・情報の教育を考える 「正解」がないからこそ

教育実践総合センター 准教授 藪 哲郎
国語教育講座 准教授 ^{なかや}中谷いづみ
教育学部 学校教育教員養成課程 3回生 木戸 啓太

18 【ひと・あれ・これ】

文学の研究を志して やってみないとわからない

龍谷大学文学部日本語日本文学科 特任講師 笹尾 佳代
奈良県立奈良西養護学校 教諭 寺田みづき

19 【留学生レポート】

未知の国へ 日本とトルクメニスタン

教育学部 学校教育教員養成課程 4回生 松村 智子
日本語日本文化研修留学生 アリシェール・エゲンベルディエフ

20 【キラリ☆奈教生】

日本女子プロ野球機構(女子プロ野球リーグ)兵庫スイングスマイリーズ入団 キャンパスより女子プロ野球選手誕生へ!!

教育学部 学校教育教員養成課程 4回生 野々村 聡子
教育学部 学校教育教員養成課程 2回生 吉岡 佐歩

楽器ふれあいコンサート 活躍する奈良教育大生

自然環境教育センター長 前田喜四雄

22 〈最終回〉大学の仲間たち 拡大号

自然環境教育センター 准教授 鳥居 春己

24 〈新連載〉奈良に息づく 仲間たち

ならやま 2010年春号

CONTENTS

〈表紙題字〉
名誉教授 池田桂鳳

表紙紹介

教育実習

表紙は、大学附属幼稚園で子どもたちを前に、初めての教育実習(部分保育)に挑む実習生です。
子どもたちの注目を一身に浴び、緊張しながらも、笑顔で保育にあたる実習生たち。
子どもたちもいつもと違う雰囲気ワクワクしながら、「先生」の話に耳を傾けていました。
今号の特集(p.4-p.7)は、そんな実習生たちの奮闘を追いました。

企画・広報室